



2018年度第3回インストラクター研修報告

インストラクター部 五十嵐泰之

期日:2018年9/1(土)・9/2(日)

場所:市原スポレクパーク他、市原市内研修室

内容:県民体育大会の試合評価ならびに分析とフィードバックについて

千葉県審判員の皆様こんにちは！日ごろは私自身もリーグだけでなく、県内の試合も審判員として活動させて頂いておりますが、今回は少し視点を変えて“インストラクター”の活動について御紹介させて頂きたいと思っております。新規取得講習や更新講習など講義形式の研修だけでなく、実技更新講習やレフェリーアセッサーなど様々なシーンでインストラクターも活動して頂いております。今回はその中からインストラクターの研修会について御紹介させて頂きます。普段はインストラクターとしてアドバイスすることが多いインストラクターも、「的確に良い点や課題点を抽出できているだろうか？」また「正しく伝わったのだろうか？」など不安に思うことも以外に多いのです。そんな不安な様子が見られない方もいらっしゃるかもしれませんが、審判同様に不安を外に出していないだけかもしれません。そんなインストラクターの研修について下記の通り御紹介させて頂きます。

県民体育大会の9/1～2をお借りして今年度第3回目の研修会を開催致しました。昨年度同時期に行われたレフェリーキャラバンからちょうど1年経過したタイミングでの実施となりました。昨年のキャラバン後、アセスメントミニ研修(SI3自主研修)・試合分析(アセスメント12月・2018年5月)・シーズン開幕前研修(審判員と合同)・話し方に関する研修と関東イントレ(ITスキル)のフィードバック研修を実施して参りました。昨年のキャラバンで学んだことの実践と、今年度2回の研修(評価+話し方)との連続性を持たせ実際に審判員にフィードバックまで行うことで「現場で活かす」ことを目標として実施致しました。

両日ともに少しの降雨はありましたが、暑過ぎず寒くもない気候で8:30・10:00kickoffと暑熱対策として早い時間の開始となりました。担当試合ごとにグループで観戦後、個人での評価→グループでの擦り合わせ、フィードバック内容の確認、担当審判員の皆さんへ実際にフィードバックを行い、審判員の方からの熱心な質問に答えていくうちに30分を超えるグループもあるなど審判員・インストラクターともに「もっと上手くなるう！」と意気込みが伝わってくるフィードバックの時間となりました。



(☎試合観戦の一コマ)

審判員の方は9/1はプラクティカルやグループワーク、9/2は映像や講義の研修と1泊2日での中身の濃い研修となっていたようですが、インストラクターも研修内容では負けてはいません。宿泊ではなかったものの、1試合に4人までの小グループによる研修で、個々の意見が出しやすい環境での研修となりました。2日間同内容の研修とはいえ、試合は同じシーン・同じ試合になるはずもなく、次の試合に進むチームを決めるためペナルティーマークからのキックが行われるなどノックアウト方式での試合の難しさもあり、それぞ

れに勉強となるシーンと全体研修での共有など幅広く行われました。

午後はスポレクを離れ研修室内に移動後、各試合でのフィードバックについてディスカッションを行い、より良いフィードバックについて検証いたしました。

グループごとに試合におけるkey incidentや共有事項の発表、またフィードバックの良い点・改善点などを発表致しました。フィードバック者と発表者を変えるなど、より多く研修に関わって頂きました積極的にご参加頂きました。

各グループの発表の様子や実際に講師にも御担当頂き、その試合の様子を共有出来るよう試合映像使って講義を行って頂きました。(試合映像を講義までの間に切り取るのも技術が必要ですが、SI2の方のお力も拝借し、スムーズに研修に移ることが出来ました。)

(☎グループディスカッション後の発表の様子)



講師は両日ともに千葉県の事情も良くご存じの大野氏(9/1)と松崎氏(9/2)。見る視点とアドバイスする上で必要/重要なこととお話頂きました。大野氏からは現状のFIFAWCから逆算した若手育成の重要性を、松崎氏からは試合の中で主審だけでなく副審にも目を向けた指導をと、目の前の試合やスタジアムでない会場では主審に目が行きがちなインストラクターへのコメントも頂きました。今、審判を始めようとしている若い方が将来

日本、アジアを代表する審判員になって頂くきっかけやアドバイスは県内のどの試合で生まれるか分かりませんし、試合は勿論主審だけでなくその他の審判員も重要な役割を担っている。他にも映像からコメントも頂きました。この記事だけではお伝えしきれない程の内容でしたが、それは参加インストラクターが今後の指導に活かして頂けると確信しております。

他にもSI2候補のインストラクターが実際に試験で行うプレゼンも実施致しました。本番より少し短めの時間設定としたせいか、難しさや応援の意味も込めた厳しくも暖かいアドバイスが講師だけでなく参加者からも多く聞かれました。試験同様に簡単な評価やコメントも頂きましたが、候補の方も数日前にお願いしたにも関わらずプレゼンを映像入りのパワー

(P プレゼンの様子)



ポイントまで御作成頂く本気度で臨んで頂き、本番に向けた良い機会になればと思えました。候補者としての練習だけでなく、実際に審判員の方に聞いて頂く良い講義であったとも感じました(実際にそのような感想も頂きました)。是非試験だけでなく今後の県内での活動時にも活かして頂ければと思います。

試合分析、フィードバック、講義、プレゼンなど1日で非常に多くの研修を行いました。朝早くから夕方までの長時間となりましたが、参加インストラクターはとても熱心にご参加頂きました！

上記のように審判員だけでなくインストラクターも日々勉強しながら皆さんに、また県内のサッカーの向上を目標に取り組んで頂いております。「インストラクターに指摘されるから嫌だな…」と食わず嫌いをするのではなく…

- ・分からないことを聞いてもっと上手くなろう！
 - ・インストラクターからのアドバイスも参考にしながら、次の試合を今日より良いものにしていこう！
- と前向きに話し合いをして頂けると幸いです。

試合会場や更新講習など時間に限りがある場合もございますが、短い時間でも何か得られるものはあると思います。今日の試合の振り返りと次への準備に向けて、インストラクターも皆さんと同じように努力しています。

審判員・インストラクターが協力し、千葉県のサッカーが発展していけるよう前向きに取り組んでいきましょう！
今後ともどうぞ宜しくお願い致します。